



地域の集合体が市

議会は市民目線をモットーに

加藤保博 議長

そうじゃ吉備路マラソン10周年

市長 先ほど「歩いて獲得！健康商品券」が話に出ました。歩く・走ると言えば、そうじゃ吉備路マラソン。市民が協力してくれて、2万人を超える大会になりました。今回は記念すべき10回大会。その記念として間寛平さんをお呼びしました。規模も拡大して、定員は全国4位規模の2万5000人。市民参加型で、今まで以上に内容を重視しながら、ボランティアとともに10周年らしく盛り上げていきたいと思えます。

議長 記念すべき大会ですね。会場で議員の顔が見えない、参加していない



そうじゃ吉備路マラソン
マスコット犬
きびマラ犬 太郎

と言う声がよく聞かれますが、会場にいななくてもいろいろなボランティアで全員がんばっています。今年は若い議員が何人か走るような気がしますが、私は遠慮します。

市長 走るのも楽しいですよ。今回は間寛平さんに快く引き受けていただきました。関西芸人ですから一緒に東京マラソンを打倒しましょうというのが決めゼリフだったんです。アースマラソンも走っている間さんは、マラソンの国民的芸能人で第一人者。そういう意味では大いに大会を盛り上げてくれるのではないで

しょうか。

議長 個人的にも大変楽しみにしています。

地域力を高める

市長 自由枠交付金制度を始めて5年目に差しかかるうとしていますが、地域の独自性が出てきたと思います。今後は「地域力予算」と称して、特に市道の補修を大幅に進めていくべく予算を考えていきたいと思えます。

議長 私は議長選挙の所信表明で、議会報告会の日程は市民目線に立ち、地域の皆さんの都合に合わせて、こちらから出向く会に変えたいと訴えました。各地域での意見交換が深まれば地域力も高まり、市長のお考えと連動することになりますね。

平成30年 成年の抱負を語る

市長 全国屈指の福祉先駆都市、ブランドデザイン改革、全国屈指の地域

力。それに次ぐ4本目の柱に職員教育を位置づけ、自分たちで考えて実行する集団、市民に誠心誠意お返しをする精神をつくり上げていくべく、この1年は全力を尽くしていきたいです。

議長 やはり地域の生の声を聞くことを重視したい

です。特に、議員がいない地域を優先に意見交換に出向く方針です。これも議会改革の一環と考えられています。総社市議会は県下でも早い時点で一問一答を導入するなど、議

会改革ではかなり進んでいます。全国改革度ランキングを気にしての無理な改革ではなく、今後実行可能な改革を着実に進めてまいります。

市長 市民の期待に応えるのは市長も議長も同じ。身を粉にして今年も働いていきたいと思えます。ご協力よろしくお願います。

議長 議会と市長は、互いの立場をよく理解して、これからもいい関係を築いていきたいです。

よろしくお願います。

市長 今日は議長のご希望で井山宝福寺での対談でした。いかがでしたか。

議長 冒頭にも述べましたが、総社には雪舟から始まった墨の文化があります。これをもっと前面に出したまちづくりを望みます。好きな庭園を見ながらの対談ありがとうございました。今年もお互いがんばりましょう。

市長 議長 今日ありがとうございました。

市長 さまざまな地域の悩みがあります。これまで全市にまたがる政策を10年間やってきました。だけど今一度立ち返るのはやはり原点の地域。地域の身の回りの課題にもう一度戻っていくということが重要です。

れぞれの地域の課題を背負い選出されています。今日の市長の決意をお聞きしますと、今年も大いに期待できますね。

市長 地域と言えば各小学校ライスカレー。昨年までに11小学校区のカレーを作製できました。

議長 私は母校の常盤小学校カレーが一番おすすめですが、どこの小学校カレーもおいしいですよ。

市長 4万食を超えて売れるとは、驚きを通り超えています。これはつくる過程が大切で、地域のコミュニティや学校のOB、現場の学校、みんなが一致協力して侃侃諤諤やりながら地域がつくりあげた味だということ、1番の成果だったと

市民の期待に応えるべく、身を粉にして今年も働いていく

片岡聡一 市長